

# 2/28 一般質問しました

質問作成に向けて、現地調査や当事者の方々との意見交換を踏まえ、県担当課とやり取りを重ねました。  
今後ともお寄せいただいた声を力に、課題解決や政策実現を進めていきます。

## 保健所行政

新しい飲食の形態に保健所はどう対応するのか?

コロナ禍で広がるシェアキッチン。地元の食材、農家や料理人など地域資源を活用し、食を通して住民や地元事業者の交流を促し、地域活性化につなげるよう働きかけました。



1/20 シェアキッチンの調査

→ 詳しくは  
こちらから  
ご覧いただけます



## 酒々井町への産業誘致

酒々井インターチェンジ周辺エリアに新たな産業を誘致するため、県に酒々井町との連携や支援を求めました。

## 博物館行政

博物館や美術館は、私たち県民の知の創造・文化の拠点。行革の流れでの再編統合ではなく、中長期的な視点での活性化、魅力向上に力を入れよう求めました。



県立中央博物館大利根分館 3/17 千葉県立美術館 3/3 佐倉市立美術館

## 循環器病対策 ロジックモデル活用で実効性のある計画に

**入江** コロナ感染第6波のピーク時には、救急搬送困難事例が急増し、コロナ以外の救急医療への圧迫も見られた。特に脳卒中や心不全などの循環器病は救急搬送等の初期対応で生死が分かれる。また、死亡原因の上位を占め、要介護状態になる主な原因ともなる。

2018年12月議員立法により成立した脳卒中・循環器病対策法に基づき、千葉県では推進計画の策定である。初めてロジックモデルという策定手法が導入されるが、これを医療法に位置づけるため小西ひろゆき参議院議員も尽力した。そこで、千葉県の循環器病対策に関する現状と課題について伺う。

**保健医療担当部長** 令和2年本県の死因別死亡数によると、循環器病の占める割合は約23%であり、うち心疾患は悪性新生物に次いで2番目に多い約16%、脳血管疾患は約7%となっている。県としては、生活習慣との関係についての周知や、特定健診・特定保健指導による発症予防の推進、救急医療体制の整備、退院後の生活指導等の再発予防に取り組んできた。今後のさらなる高齢化で患者数の増加も予測されており、取組の強化が課題である。

**入江** 計画策定にあたり、ロジックモデルの活用の意義をどのように認識しているか。

**保健医療担当部長** ロジックモデルは、施策が目標達成に至るまでを体系的に図式化したもので、その活用が計画策定の具体的な方法の一つとして示されている。

県計画では、例えば発症予防については脳卒中等の発症の減少を長期的な成果指標としているが、発症の原因の一つである高血圧の改善状況やそれを発見するための手段として特定健診・特定保健指導の実施率の増加を中間成果指標とし、施策の実施効果を確認することとしている。

その中で、仮に健診の実施率が増加しているにもかかわらず、高血圧が改善していない状況であれば、その健診が効果を上げていないことがわかるなど、より

## 6月県議会の予定

開会 5/27(金)～閉会 6/21(火)

6/2(木) 会派代表質問  
13:00～ 入江が登壇予定



3/18 ウクライナ和平に向けて会派アピール

## 入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2階)  
電話 / 043-420-8758  
fax / 043-420-8759  
mail/groundwater.sakura@gmail.com

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト URL/ <https://irieakiko.jp/>

いのちと暮らし、守り抜く



## プロフィール

1965年

宮城県仙台市生まれ

1988年

国際基督教大学(ICU)

教養学部社会科学科卒業

2003年4月～

佐倉市議会議員

2011年4月～

千葉県議会議員

## 2019年4月～現在

千葉県議会議員3期目

健康福祉常任委員会委員

議会運営委員会委員

会派「立憲民主・千葉民主の会」政調会長

立憲民主党千葉県連 副幹事長・組織委員長

連合千葉議員団会議所属

千葉県地方自治研究センター所属

千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属

千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属

千葉県フリースクール等教育機会確保議員連盟所属

全国災害ボランティア議員連盟所属

2021年12月  
千葉県健康福祉部資料を基に作成